

2018. 1. (29-9)

12月号

水辺のふるさと かつしか

自然環境レポーター通信



題名 : オンブバッタ

撮影場所 : 水元3

写真提供 : 佐々木 定治さん

水辺のふるさとかつしか 12月号

目次

1	区内で見られる55種の動植物	……………	P 1～3
2	自由レポート……………	(調査区1) 弥生さくら草さん	P 4～5
		(調査区3) 荒井 敏夫さん	P 6
		R Y Uさん	P 7
		Rさん	P 8
		藤並 剛さん	P 9
		(調査区5) K. Nさん	P 10
		佐々木 定治さん	P 11～12
		鳥好き植木職人さん	P 13
3	魚からの便り—244……………		P 14～15
4	今月の1枚……………		P 16～17
5	資源・エネルギーチェック票の報告結果……………		P 18
6	環境課からのお知らせ……………		P 19～20



—編集担当より—



神奈川県平塚市から一匹の「猿」が旅をしている。警察や各自治体の必死の捕獲作戦も猿には関係ないようで、自由奔放に東京を抜け今では千葉県の佐倉市まで足を運んでいるという。距離にして150km以上に移動しており、巷では「駅伝サル」、葛飾柴又も通り抜けたということで「フーテンのサル」とも呼ばれている。自然環境係からも2名の職員が捕獲に参加し、大きい網を携え奔走した。この猿は一体何が目的なのだろうか。専門家によると自分の縄張りや居心地のいい群れを求めて彷徨っているとも言われている。

猿といえば千葉にもサル園がある。柵で囲われた中に猿が暮らしているのはもちろんのこと、観光客が通る柵の外にもあたりまえの様に猿がおり、なにくわぬ顔で歩いている。(威嚇する様子もなく、ずいぶん人馴れしていた)柵の中の猿にエサをあげつつ、その近くを野生の猿がうろついているという一石二鳥なサル園なのだ。逃走猿も是非ともこのサル園を目指して旅してもらいたい。

最後になりますが、皆さんにおかれましてはレポート等、色々な部分でお世話になりました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(斉藤)

11月 生物指標・ 観察集計表		奥戸	新小岩	東新小岩	西新小岩	青戸	立石	東立石	東四つ木	四つ木	白鳥	亀有	西亀有	小菅	堀切	東堀切	お花茶屋	宝町	高砂	鎌倉	細田	柴又	新宿	金町	金町浄水	東金町	水元	水元公園	東水元	南水元	西水元	時期・特徴など		
野	1	コアジサシ																														上旬・中旬・下旬/		
	2	ツバメ																														上旬・中旬・下旬/		
	3	オオヨシキリ																														上旬・中旬・下旬/		
	4	コガモ						1																			1					上旬・中旬・下旬/		
	5	ツグミ																														上旬・中旬・下旬/		
	6	ウグイス																														上旬・中旬・下旬/		
	7	コサギ						2	1			1																4					上旬・中旬・下旬/	
	8	カワセミ																										1					上旬・中旬・下旬/	
	9	コゲラ																														上旬・中旬・下旬/		
	10	シジュウカラ										7																3	多					上旬・中旬・下旬/
鳥	11	ギンヤンマ			1																											上旬・中旬・下旬/		
	12	アキアカネ			1																											上旬・中旬・下旬/		
	13	オオカマキリ				1					2	1																				上旬・中旬・下旬/		
	14	エンマコオロギ			1						多																		多					上旬・中旬・下旬/
	15	カンタン																														上旬・中旬・下旬/		
	16	トノサマバッタ																														上旬・中旬・下旬/		
	17	クマゼミ																														上旬・中旬・下旬/		
	18	アブラゼミ																															上旬・中旬・下旬/	
	19	ツクツクボウシ																															上旬・中旬・下旬/	
	20	ミンミンゼミ																															上旬・中旬・下旬/	
虫	21	ニイニイゼミ																														上旬・中旬・下旬/		
	22	ヤマトタムシ																														上旬・中旬・下旬/		
	23	ナガサキアゲハ																														上旬・中旬・下旬/		
	24	クロアゲハ																														上旬・中旬・下旬/		
	25	ナミアゲハ																														上旬・中旬・下旬/		
	26	テングチョウ																														上旬・中旬・下旬/		
	27	ツマグロヒョウモン																														上旬・中旬・下旬/		
	28	アカボシゴマダラ																														上旬・中旬・下旬/		
数値…レポーターが確認した個体数の合計(数えきれない場合には“多”で表示)		上旬 1日～10日		中旬 11日～20日		下旬 21日～30(31)日																												

11月 生物指標・ 観察集計表		奥戸	新小岩	東新小岩	西新小岩	青戸	立石	東立石	東四つ木	四つ木	白鳥	亀有	西亀有	小菅	堀切	東堀切	お花茶屋	宝町	高砂	鎌倉	細田	柴又	新宿	金町	金町浄水	東金町	水元	水元公園	東水元	南水元	西水元	時期・特徴など	
植 物	29	アカメガシワ												多																		上旬・中旬・下旬/	
	30	スギナ																														上旬・中旬・下旬/	
	31	ナガミヒナゲシ																														上旬・中旬・下旬/	
	32	シロツメクサ					1	1	1					多																		上旬・中旬・下旬/	
	33	スズメノエンドウ																														上旬・中旬・下旬/	
	34	イモカタバミ											多	4																		上旬・中旬・下旬/	
	35	アレチウリ					多																									上旬・中旬・下旬/	
	36	セリ																								多						上旬・中旬・下旬/	
	37	オオバコ																															上旬・中旬・下旬/
	38	オオキンケイギク																															上旬・中旬・下旬/
	39	カントウヨメナ																															上旬・中旬・下旬/
	40	カントウタンポポ																															上旬・中旬・下旬/
	41	ソユクサ																															上旬・中旬・下旬/
	42	ジュズダマ																									2						上旬・中旬・下旬/
43	ススキ											多														2						上旬・中旬・下旬/	
ほ 乳	44	アライグマ																														上旬・中旬・下旬/	
	45	ハクビシン																															上旬・中旬・下旬/
は 虫	46	ミシシippiaアカミミガメ							2		1																					上旬・中旬・下旬/	
	47	ニホンカナヘビ																														上旬・中旬・下旬/	
両 生 類	48	ニホンアマガエル																														上旬・中旬・下旬/	
	49	ニホンアカガエル																														上旬・中旬・下旬/	
	50	ウシガエル																														上旬・中旬・下旬/	
ク モ	51	コガネグモ																														上旬・中旬・下旬/	
	52	ジョロウグモ																														上旬・中旬・下旬/	
魚 類	53	メダカ																														上旬・中旬・下旬/	
	54	ブルーギル																														上旬・中旬・下旬/	
底 生	55	ベンケイガニ																														上旬・中旬・下旬/	

数値…レポーターが確認した個体数の合計(数えきれない場合には“多”で表示) 上旬 1日~10日 中旬 11日~20日 下旬 21日~30(31)日

集計人数 6名

※ 11月の調査では、55種のうち16種が確認されました。

その他の自然観察について(本文掲載以外・敬称略)

日付	生物名	場所	調査者	個体数	事項
11/1	ツツレサセコオロギ	立石6、7	森本 龍司	2	○
11/1	ハクセキレイ、ヒヨドリ、カワウ、スズメ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	1、3、1、多	○
11/1	モンキチョウ、モンシロチョウ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	2、2	○
11/1	ヤマトシジミ、ツツレサセコオロギ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	5、2	○
11/1	キンエノコロ、アキノエノコログサ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多	○
11/1	セイヨウタンポポ、セイタカアワダチソウ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	3、多	○
11/1	ヨシ、コセンダングサ、オギ、チカラシバ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多、多、多	○
11/1	カタバミ、シロツメグサ、ヒメツルシバ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多、多	○
11/2	ホトギス	亀有図書館裏	荒井 敏夫	多	○
11/2	モンシロチョウ、ヤマトシジミ	亀有4	荒井 敏夫	2、5	○
11/2	ツツレサセコオロギ	青戸3、立石7	森本 龍司	2	○
11/3	ジョウビタキ	亀有4	荒井 敏夫	1	○
11/3	ヒドリガモ、オオバン、ダイサギ	水産試験場周辺	藤並 剛	多、多、4	○
11/3	アオサギ、ハクセキレイ、スズメ、ヒヨドリ	水産試験場周辺	藤並 剛	1、2、多、多	○
11/5	ツツレサセコオロギ	立石6、青戸3	森本 龍司	2	○
11/6	オンブバッタ	青戸3	森本 龍司	1	○
11/7	ハネナガイナゴ、イボバッタ	青戸3	森本 龍司	2、1	○
11/7	アズマヒキガエル	立石6	森本 龍司	1	○
11/7	ムクドリ、ヒヨドリ、メジロ、カナタタキ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多、5、多	○
11/7	ハラオカメコオロギ、ヤマトシジミ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、1	○
11/7	ツツレサセコオロギ、キチョウ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、1	○
11/10	クルマバッタモドキ、モンシロチョウ	青戸3	森本 龍司	1、2	○
11/10	ヒヨドリ	青戸3	森本 龍司	4	○
11/11	ノコンギク、カルガモ	古隅田川	石鍋 壽一	1、16	○
11/12	モンシロチョウ	青戸3	森本 龍司	1	○
11/16	オンブバッタ	青戸3	森本 龍司	1	○
11/18	オオサギ、アオサギ、ヒヨドリ	水元公園	森本 龍司	1、1、多	○
11/18	キンクロハジロ、ホシハジロ、オニグルミ	荒川小菅緑地公園	石鍋 壽一	4、3、1	○
11/19	オンブバッタ	青戸3	森本 龍司	2	○
11/19	スズメ、ヒヨドリ、キジバト、ヒメツルシバ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多、2、多	○
11/22	ヒヨドリ	青戸4	森本 龍司	多	○
11/23	ハクセキレイ、イロハモミジ	亀有4	荒井 敏夫	多	○
11/23	ヒメツルシバ、ハゼラン	小菅1	石鍋 壽一	3、2	○
11/23	イモカタバミ、ゲンノショウコ	小菅1	石鍋 壽一	4、多	○
11/24	メジロ、イナゴ	青戸4	森本 龍司	2、1	○
11/26	メジロ	青戸3	森本 龍司	4	○
11/27	オナガ	亀有4	荒井 敏夫	10	○
11/27	オナガ、スズメ、ヒヨドリ、メジロ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	2、多、5、2	○
11/27	メタセコイヤ、ケヤキ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多	○
11/27	イロハモミジ、サクラ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多	○
					○

○…確認

枯れ葉散る

弥生さくら草

また枯れ葉の季節が巡ってきた。我が家の門柱の脇にある^{けやき}欒は樹齡二百年を数えるだろうか……この木の葉がすべて落葉するまで掃き寄せる仕事は続く。落ち葉は風に運ばれて、とんでもないところまで飛び散る。この木は遡ってこの辺りが農村地帯だったころから、辺りを^{へいげい}睥睨しながら世の移り変わりを見てきたのだ。私がここへ住んでからでも、半世紀を越えた。その時でさえ^{へんぼう}変貌していたから欒の木はさらに長い歴史を見てきたのだ。欒は現在葛飾区の保存樹である。

十一月の景色は我が家では、萩の葉が真黄色で、どうだん^{つつじ}躑躅が真っ赤である。それだけでも晩秋の景色である。野牡丹は紫色の花が盛り、花の少ない季節には目立っている。菊花も終わりに近い。それらの咲き終わった花を刈り取って積み上げた。先日のテレビの報道では園芸を楽しむと認知症予防になる？という。それが嘘でもそれを信じたほうが幸せだから、もう少し頑張ることにしよう。

先日葛飾区の環境課から保存樹について問い合わせがあった。

庭の奥の椎の木もまた保存樹で、指定されてからもう数十年が経っている。年月につれて更に幹回りが増したので保存樹の看板を取り外し、それ以来また太った。欒と椎はどちらが古いかわからないけれど私の存命中は大事にしようと思っている。椎は常緑樹だから掃き寄せる手間がかからない。大きな木のある

近所の家では木に大きな網をかぶせた。落ち葉は網の中に積まれる。その文だけ掃き寄せる手間が要らない。でも大きすぎる木には被せる手段も網もないから――。



氏名	荒井敏夫	町名	亀有	調査区	3
----	------	----	----	-----	---

オオカマキリに想う

平成29年11月30日



今年の初誕生は5月16日だ。
 家の前のヒラドツツジの葉裏の
 「卵のう。」からウジウジと出てくる
 幼虫。残念ながら半分ちよとで
 終わってしまったが、それでも各々が
 安全な所に別れていく。少し涙を
 離すともうわからない。体長1cm位。
 若葉色で数日後にはそれぞれ一匹
 ずつ離れ、縄張りをもっている感じだ。
 子供はカマキリでも可愛い。
 夏の頃に5cm秋には8cm、メスの
 産卵時の10月頃は10cm位だ。
 いっもじとしていて、大きくなるから不思議。

↑ 逆さになつて産卵するオオカマキリ。 10月9日、ツツジの葉裏で産卵する
 オオカマキリを発見、逆さまになつて、時間を掛けかかばる姿に感
 動した。その後11月に入るとキワマンサクの金垣を手入れしている
 オオカマキリの卵のう5つと、チヨウセンカマキリの卵のう3個を
 見つけた。2cm位の所だ。雪国ではカマキリの卵のうが高い所に
 産むと、雪が多いという話を聞いたが東京は暖冬で雪も少ない
 のに2cmの所に。又来年の5月頃を楽しみにしています。

氏名	RYU	調査区	3	11月
----	-----	-----	---	-----

短い秋



左は、上旬の西亀有せせらぎ公園です。イチョウの色づきは始まったばかりで、黄色と緑のコントラストが素敵でした。

中央と右は、下旬の白鳥です。秋の深まりを感じます。



左は、たった1個だけ熟した我が家のオリーブです。今は大切に塩漬けしています。

中央は干し柿です。区内の一般家庭で、ベランダに柿を干している家はなかなか見つからないと思われます。

右は、紙紐を広げて花を作ったリースです。家で余っている紙紐や、紙袋の取っ手をリサイクルしてみたいかがでしょうか。

氏名	R	調査区	3	11月
----	---	-----	---	-----

曳舟川親水公園生き物調査 26



カメが日光浴をしています。よく見ると、甲羅は脱皮をしています。



お花茶屋公園の紅葉です。黄色 赤色 薄灰緑色の葉っぱが見られます。樹の下には、色づいた葉っぱがたくさん落ちていました。



恒例の、勝手に観察樹です。左の写真が10月、右の写真が11月です。

寒くなってきたせいか、葉っぱがすっかりなくなっていました。

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

11月1日(水)午前11時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は15度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、シジュウカラ(1)、コサギ(1)、ハクセキレイ(1)、ヒヨドリ(3)、カワウ(1)、スズメを発見した。昆虫は、モンキチョウ(2)、モンシロチョウ(2)、ヤマトシジミ(5)、ツヅレサセコオロギ(2)、エンマコオロギを見つけた。野草は、キンエノコロ、アキノエノコログサ、セイヨウタンポポ(3)、セイタカアワダチソウ、ヨシ、コセンダングサ、オギ、チカラシバ、カタバミ、シロツメクサ、ヒメツルソバを見つけた。

11月3日(金、祝)午後2時頃、天気は晴れ(風なし)、気温20度くらい。水元公園元水産試験場周辺。野鳥は、ヒドリガモ、オオバン、ダイサギ(4)、コサギ(1)、アオサギ(1)、シジュウカラ(5)、ハクセキレイ(2)、スズメ、ヒヨドリなどを見つけた。昆虫は、エンマコオロギ、カネタタキ、ツヅレサセコオロギ、ハラオカメコオロギ、モンシロチョウ(1)、ヤマトシジミ(3)などを見つけた。野草は、キンエノコロ、カタバミ、イヌタデ、ススキ、セイタカアワダチソウ、チカラシバ、アカツメクサなどを見つけた。イチョウの葉っぱが黄色に色づき始めた。

11月7日(火)午前11時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は15度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ムクドリ、ヒヨドリ、メジロ(5)を見つけた。昆虫は、ハラオカメコオロギ、カネタタキ、ツヅレサセコオロギ、ヤマトシジミ(1)、キチョウ(1)を発見した。植物は、ヒメツルソバ、アキノノゲシ、セイタカアワダチソウ、コセンダングサを見つけた。サザンカの花が咲き、サクラの葉が紅葉し、散り始めた。カツラも同様である。ハナミズキは落ち葉となった。地面は、シラカシの実でいっぱいだった。

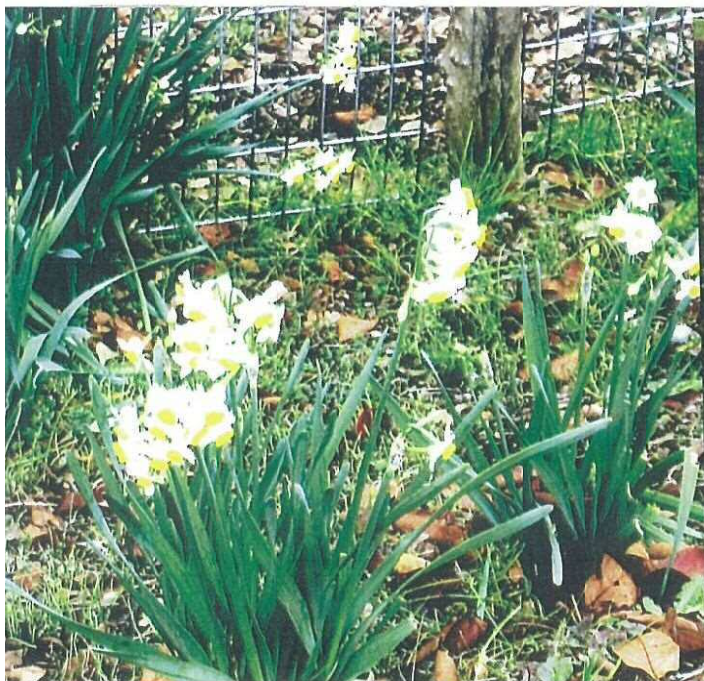
11月19日(日)午後4時頃、天気は晴れ(風なし)、気温10度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ、キジバト(2)を見つけた。植物は、セイタカアワダチソウ、コセンダングサ、カタバミ、ヒメツルソバを見つけた。サザンカが咲き、カツラが紅葉し、落ち葉となった。

11月27日(月)午前11時頃、天気は晴れ(風なし)、気温11度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、オナガ(2)、スズメ、ヒヨドリ(5)、メジロ(2)、シジュウカラ(5)を見つけた。植物は、メタセコイヤ、ケヤキ、イロハモミジの紅葉が見ごろとなった。サクラは落ち葉となった。

11月は天気がよく、朝と昼の寒暖の差が非常にあった。そのお陰か紅葉がすすみ、落ち葉も舞い始めた。昨日は、茨城県北部地域・袋田の滝や紅葉散策に行ってきた。水と木々の自然の美しさに感動した。(11月27日記入)

氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
自分で指定（観察地内の植物と昆虫・指定種中心）鳥類は大橋周囲～小合溜を観察					
29年	西洋タンポポ	1	しろつめ・つゆ草など	0	小合溜周囲の野鳥・カワウ
11/8	シジュウカラ	多数	コサギ	4	アオサギ
			ユリカモメ	30	カモ類
11/30	西洋タンポポ	2	他の花	0	小合溜周囲の野鳥・シジュウカラ
			カワウ	15	コサギ
			アオサギ	1	ユリカモメ
				50以上	カモ類
					370程度

1. 小合溜周囲にはカモ類 300 以上、公園奥まで数えればかなりの数だ。写真がうまく撮れないのであいまいだが、カモの胴体にまるで腹巻をまいているような白い模様が見えるのだが「何だろう」毎日歩くという六十代の女性に聞くと、以前にも見たという。売店の2人の女性は、「めずらしい」という。
・ユリカモメが一箇所に集まっているので近寄ると、餌上げの人がいた。おせんべいだったが、野鳥の健康の為、止めましょうと説明し了解していただく。
2. 寒いためか小合溜に釣り人はいない。その一箇所にアオサギがカラスの鳴き声に、反応して鳴いていた。カメラを構えて50cm程度近寄るが飛び立たない。数日前も釣堀で釣り人の周囲をウロウロしているアオサギを見かけた。
人を警戒し野性が強いと思っていたが、後ろを歩いてもじっとしているサギに驚き、シャッターチャンスだった。
3. 観察地や周囲では雑草の花をみかけない。西洋タンポポも例年は二桁ある時期だが、1～2個と少ない。だが、水仙の花が真っ盛りで早い。以前の記憶だと1月ころだったように思うが、温度変化の激しさに植物も混乱しているのだろうか。秋が短く冬の寒さが早かったから、自宅の庭でよく見かけたオンブバッタが2個程度と減少している。



自然観察レポート29年11月の巻 佐々木定治 調査区5 実りの秋も美しきかな！



11月15日 イチョウ 水元1丁目



サザンカ 水元2丁目



ドウダンツツジ↑

立石5丁目



ラベンダー

クチナシの実↓



秋は、色どりを添えてくれる季節でもあります。そしてその色彩は、木々に思いのほか美しさとしての表現美を見せてくれます。紅葉は気温による影響があるようですが、それにしてもイチョウの黄色・ドウダンツツジの赤色もそこに、やわらかい光があるとなお一層その美しさに磨きがかかります。そして梅雨の頃に芳香を放ち咲いていた、クチナシの実を発見しました。

この実は、キントンの色付けに使用出来ます。自然の色彩を得て、正月料理に活用してみたいと思う秋の日です。

そこはかたなく秋の命



11月27日 ススキ 水元3丁目



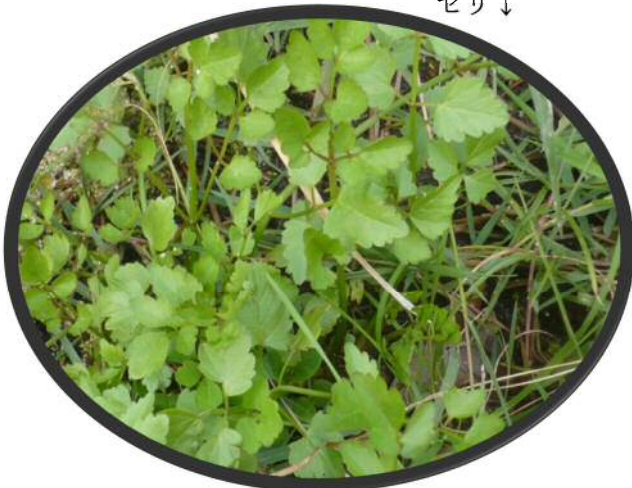
アキノゲシ↑



セリ↓

オンブバッタ↑

秋は、1年の暮らしを思い返す感謝の前奏の季節です。そして冬を迎えます。冬はこれまで暮らしの中で出くわした事象を思い起こし、豊かな自然の恵みを受けた、この地球に感謝しつつ、新しい年を迎える準備をする心構えを作る季節かなとも思います。日ごとに寒さを重ね、師走に近づく11月27日の観察日記です。



ススキの穂も風に揺れ、綿毛が風に運ばれる11月の終わり。アキノゲシが凜と咲いています。そこから目を離すと、オンブバッタがしっかり母さんにつかまり散歩している光景を見つけました。そこは、水辺のセリの群生地でした。水元3丁目の11月の様子です。命が連続して季節ごとにつながりを持ち続けること。それは地球に負荷をかけすぎない暮らしの責任を果たすことと関係があります。それゆえ、そのための実践をしていくことが重要だと考えています。

氏名	鳥好き植木職人	町名	西水元	調査区	5
主な観察場所	中川左岸西水元水辺の公園～常磐線陸橋。区内の庭				
得意分野	野鳥及び植物	レポート no38			

初めてのレポーターによる「俄博士発表会」が開催

緑化・環境フェアが10月1日に例年同様に開かれたが、今年初めての企画「俄博士発表会」が開催され四人のレポーターが日頃の活動成果を報告した。関口氏「オオモノサシトンゴを探る」江良さん「メダカの小道～四つ木の風景」田中氏「四葉のクローバー探しますか」大杉氏「ビックリ！中川の鳥達」。観客は少なかつたものの内容は濃い興味あるものでした。来年も開催され続けられることを期待します。



最近カワウが増えた！

中川のカワウはここ数年常に2～3羽か多い時で数羽であったが、今年は倍ぐらいいる。写真は、いつもは鴨の常駐場所であったが、今年はカワウの占拠が目立つ。この近くの水道管橋の上には20羽を超えるカワウを見た。カワウは嫌いではないが余り増え過ぎては他の鳥や魚のことが心配になる。



葛飾柴又新八水路 魚からの便り-244

調査回数 調査日 地点		246 2017/11/18			備 考
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	1 35			
2	カ ダ ヤ シ	1 32	51 13-32		
3	カ ム ル チ ー		1 98		
4	ギ ン ブ ナ		2 48-91		
5	ク ロ ダ ハ ゼ	2 33-40			
6	ツ チ フ キ	2 65			
7	ニ ゴ イ	2 67-77			
8	ヌ マ チ チ ブ	15 20-54			
9	ボ ラ	1 141			
10	マ ハ ゼ	5 54-110			
11	メ ダ カ		3 17-32		
12	モ ツ ゴ		3 27-34		
計		8種類29個体	5種類60個体	0種類0個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、あわせて12種類89個体の魚類が採集されました。（新八ワンドは水位が下がったため、採集できず。）
- ・ 曇り時々雨 気温11.8℃、水温 本流11.0℃、新八水路10.9℃、新八ワンド11.8℃（14時半頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 朝はかなり水位が低かったが、昼過ぎには水閘門が閉じられてどんどん上昇していった。暖かいが暑い時期なら低い水位の方が魚が採れるが、寒さを感じる11月中旬では、魚を採るのにかなり苦労した。
柴又の江戸川本流では、よく似たカマツカとツチフキの両方見られる。在来種のカマツカは砂底ないし砂礫底に住むのに対し、国内移殖種のツチフキは泥底を好む。従って流域分布域（川の流れに沿った生活場所）も本来はカマツカの方が中流域側に片寄っている。柴又付近の江戸川は、本来は中流域の末端にあたるが、行徳の水閘門が閉じていると湛水域（ダム湖）が形成されるために泥が貯まっており、両者が見られることになるのだろう。最近ではツチフキが多くなっている印象があるが、台風によるフラッシュ効果でカマツカの増加に期待したい。（YK）
- ・ いつ降り出すか、空をにらみながらの調査になりました。
急速な大減水で、本流で採れたカダヤシは止水の場所から流れ出したのでしょうか。こうやって分布が広がるとしたら困りものです。（KI）
- ・ 今月は投げる回数より、投げるポイントを絞り挑戦した。考えながら打つと入った時の喜びは大きかった。（E大KI）
- ・ せっかく珍しい魚が採れたと思ったら、水槽から消えた「シモフリシマハゼ」、今夜は寝られない。（SI）

【今後の調査日】 12月3日（日）【2018年】1月27日（土） 2月24日（土） 3月24日（土）

HP（ <http://shigenori1.jimdo.com/> ）

【編集：一澤成典】

今月の1枚



「ユリカモメ」

29/12 東立石

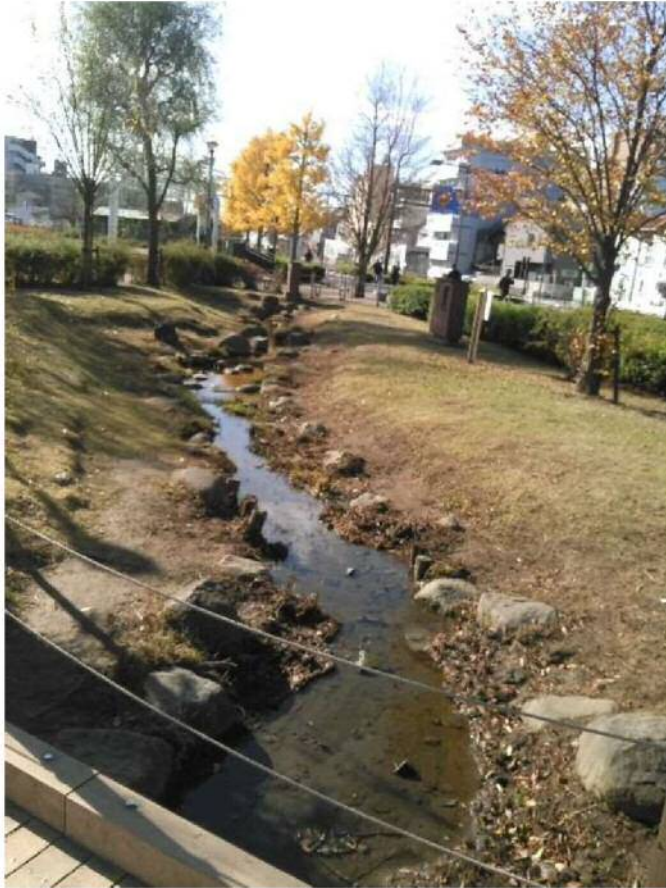
撮影 高橋 雅子さん



「彩り鮮やか」

29/11/29 白鳥

撮影 R Y Uさん



「きれいな川」
29/11/25 曳舟川親水公園
撮影 Rさん



「オンブバッタ」
29/11/27 水元3
撮影 佐々木 定治さん

11月 資源・エネルギーチェック票の報告結果

家族構成		電気	ガス(都市ガス)	水道	二酸化炭素
大人	子供	Kwh×0.42	m ³ ×2.21	m ³ ×0.2	排出量
1	0	49.14	22.10	0.00	71.24
2	0	38.22	13.26	2.60	54.08
3	0	325.50	52.82	20.40	398.72
4	0	211.26	134.81	14.80	360.87
2	0	138.60	117.13	7.40	263.13
2	0	34.86	37.57	3.20	75.63
4	1	148.26	196.69	12.40	357.35
4	1	167.16	112.71	11.40	291.27
2	0	57.12	68.51	5.4	131.03
3	0	332.64	66.30	0.00	398.94
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
27	2	1502.76	821.899	77.6	2402.259
平均(1家族)		166.97	91.32	8.62	266.92
一人あたりの平均		68.31	37.36	3.53	109.19

< 11月の二酸化炭素の排出量 >

* 一人あたりの平均は109.19kg』です。

お出かけは、できるだけ公共の交通機関を利用しましょう。

環境課からのお知らせ

自然環境係 電話5654-8237(直通)

☆【大募集】お正月特別号の写真を募集しています！

平成30年1月10日(水) 〆切

あなたが撮影したとびきりの写真を送付ください。

お正月特別号のみフルカラーで作成します。

写真のタイトル・コメント・撮影者名・プロフィール(必須)、撮影日・撮影場所(任意)を添えて、1人2枚まで提出できます。

以下に当てはまらない場合、また応募多数の場合は応募いただいたすべての写真の掲載を控えることがございますので予めご了承ください。なお、内容は変更する場合がございます。

水辺のふるさと 特別号

写真

- 区内で撮影したもの
 - 自然に関するもの
 - ご自分で撮影されたのであれば、
いつ撮影されたものでも構いません
- ※サイズは問いません
※今月の1枚と同じ写真でも可



撮影者のプロフィール←必須

レポ歴: _____

フィールド: ぶだんの活動場所

好きな生きもの: _____

「タイトル」←必須

コメント←必須 _____ ※コメントが指定された枠内に収まらない場合は事務局で編集することがありますのでご了承ください。

撮影日・撮影場所(任意)、撮影者名←必須

☆【大好評】かつしか生きものトランプ販売中

～子どもから大人まで生物多様性が楽しく学べます～

トランプの図柄は、昭和11年に水元公園で発見されたオオモノサシトンボや都の天然記念物のオニバスなどをはじめ、在来種や絶滅危惧種、外来種などです。

カードには、主な生息環境や区内で見られる珍しさの度合い、特徴・主な食べ物・体長などが記されています。

トランプに封入されている遊び方は全部で5種類。それ以外にも工夫次第で遊び方はたくさんあります。また、サイズが小さいので携帯しながら自然観察するのもオススメです。

かつしか生き物トランプは

区役所3階304番 区政情報コーナーで販売中です！

郵送でも承っております。詳しくは自然環境係までお問い合わせ下さい



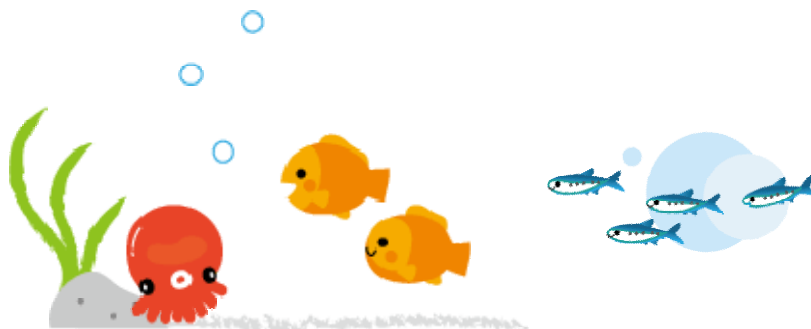
☆新ハ水路魚類調査

日時 2月13日(土)、3月26日(土)

午前10時～午後4時 雨天決行

場所 江戸川河川敷 寅さん記念館下まで直接お越しください。

詳しくは、HP (<http://shigenoril.jimdo.com/>)



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。次号にて訂正いたします。

「水辺のふるさと・かつしか」第 297号
(葛飾区 自然環境レポーター通信第249号)

平成29年12月22日 発行

葛飾区環境部環境課

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL(3695)1111 内線3522~3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538

「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。次号にて訂正いたします。